

特集

1

コロナ禍、複業・越境時代の

「キャリア」を考える

人材ビジネスが拓く

「キャリア自律・形成」支援

複業、越境などによる働き方の多様化、そして労働移動の高まりなどによる「キャリア自律」という概念への関心が今、個人そして組織においても急速に高まりつつある。さらにコロナ禍によるテレワーク、オンライン化の流れにより、個人そして組織における「キャリア開発」そして「自律」は、性年代や国籍、業種・職種を問わず、より身近なキーワードとなっている。人材、そして組織は今、「キャリア」をどう捉え、向き合うべきなのか。個人そして組織の「キャリア自律」を支援する人材ビジネスの取り組みから、そのヒントと可能性を探るシリーズ。今回はそのワイド版としてパーソルプロセス&テクノロジーと日本マンパワーの2社の取り組みに注目したい。

(本誌 伊藤秀範)



パーソルプロセス&テクノロジー
事業開発統括部兼デジタル人材開発部 部長
成瀬岳人氏



日本マンパワー
CDA事務局・講座推進課 課長
五十嵐賢氏